



学校だより

絆の草中

草野中学校 令和5年度第4号

令和5年5月19日

文責：校長 西田 英実

ふくしま学力調査を行いました

5月16日(火)、1・2年生を対象に、「ふくしま学力調査」を行いました。

昨年度までの調査結果をもとに、一人一人の学力の伸びや学習の取り組み状況を調査し、生徒の学習意欲向上や学校の指導改善に役立てます。

今回は、国語、数学の2教科の問題に取り組みました。昨年度の学習内容がどれだけ身に付いているかが分かります。その後、質問調査を実施し、日頃の授業や家庭学習の状況を調査しました。結果は、まとめ次第お知らせ致します。



「つくる喜び」を体験

いわゆる5教科と異なり、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の技能4教科では、身体や道具を用いたり、ものを作ったりする活動が多くなります。1学期、技術・家庭の技術分野では、「生物育成」(栽培)の学習を進めています。

2年生は、「カブ」を栽培。ペットボトルを用いた簡易なプランターに種を蒔き、新芽が出てきたところです。水やりなど手入れをしています。自分が植えた種から作物が生長していくのを見るのはとてもうれしいと思います。そして、最後に収穫できたときの喜びはひとしおでしょう。



ペットボトル畑にまいた種から芽が出てきました(2年生)



バケツ畑に牛糞を入れて土づくりです(3年生)

ICTの活用が推進され、世の中でも電子情報(サイバー空間、仮想現実等)の活用が広がっています。だからこそ、現実生き物が生まれ、育ちゆく姿を見ること、その営みに携わること、いわゆるリアルな体験をすることは益々貴重です。土に触れ、水をやり、心を配って手入れをする。うまく生長しない場合もあります。そうした様々なことから大いに学んでほしいと思います。

3年生は、「イチゴ」栽培のために、2年生より大きなバケツに一人一人土づくりをして、栽培実習を始めました。赤玉土、培養土、牛糞、化学肥料。様々な材料を順序立てて重ね、混ぜて自分の「畑」をつくっていきます。幸い、生徒からは「楽しい!」という声が聞かれます。「培養土はどれくらい入れたらいいですか」と積極的に質問する生徒も多くみられました。「つくる喜び」を味わっているようです。これからの楽しみです。

市中体連が間近に迫ってきました 健康管理、ケガの防止を!



1学期も半ばが過ぎ、早いものです。中間テストが終わると、来週金曜日には、いわき市中体連陸上大会・総合大会の選手壮行会があります。各部活動とも、毎日の練習や週末の練習試合、大会などに益々熱が入っています。このような時こそ、注意したいのが、大きなケガ、体調不良です。これまでの練習の成果を十分発揮できるよう、健康管理などに気を配りたい時期です。学校でも指導しています。ご家庭でもご協力をお願いします。

<来週の予定>

日	曜	おもな行事
22	月	部活動なし、ICTサポーター出役
23	火	中間テスト、部活動なし
24	水	部活動可能日
25	木	学校評議員会、学校司書出役
26	金	市中体連壮行会、学校司書出役

<今週のことば>

◎「苦しいときは、私の背中を見なさい」(澤穂希^{さわほまれ})
 サッカー女子日本代表チームをワールドカップ優勝に導いた澤キャプテンの言葉です。「苦しいのはみな同じ。でも、私は決してあきらめないよ。一緒に頑張ろう。」そんな声が聞こえてきそうです。
 中体連は3年生にとって最後の公式試合。頼れるのはきっとその3年生ではないでしょうか。